

現在進行中の
プロジェクトの一部をご紹介します。



Currently
Underway

茨城県営桜川西アパート105号棟 建設工事監理委託

●建築地／茨城県水戸市 ●担当／池田、清水

水戸市に建設中の県営桜川西アパート105号棟です。
県営桜川西アパートは老朽化に伴う建替え工事が進んでおり、弊社ではその内3期目の建替え工事となる、105号棟、106号棟の設計を行いました。現在は105号棟の監理業務を行っており、今年度中の完成を目指し、施工者・監理者一丸となって工事を進めております。

上の写真は、3階床の鉄筋組立作業の様子。下は、ドローン撮影による現場の状況写真です。本現場では、月に一度ドローン撮影を行い現場の進行状況を管理しております。

年内には残りの106号棟も着工見込みで、再来年度には105号棟・106号棟全体の供用が開始予定です。

現在進行中の業務

- 茨城県営アパート（都和18号棟・桜川西105号棟）建設工事監理
- 警視庁東京空港警察署弁天橋交番改修工事監理
- 古河市下辺児童クラブ施設整備工事設計
- 市原市サンプラザ市原空調設備等改修工事実施設計
- 水戸市いきいき交流センター柳堤荘長寿命化改修実施設計
- 那珂市「道の駅」基本設計
- 那珂市特定建築物定期報告調査（中学校）
- 常陸太田市水府竜神観光施設太陽光発電設備設置工事設計
- かすみがうら市中央整備工事設計意図伝達
- 一誠商事研究学園支店内装工事監理
- 東北自動車道吾妻PA商業施設新築工事他設計
- 東北自動車道佐野SA（上り線）商業施設等監理
- Q原宿B1区画内装工事設計
- J社いわき工場耐震診断
- 住宅型有料老人ホーム新築工事監理
- （仮称）上ノ室保育園新築監理

最新の業務完了物件

- 警視庁小松川警察署ほか留置施設改修工事監理
- 東京消防庁大森消防署改修工事監理
- 茨城県営アパート（釜神町2号棟・桜川西3号棟）解体工事監理
- 茨城県警察本部職員住宅解体工事に伴う実施設計
- 茨城県庁行政棟他3棟法定点検業務委託
- 見和アパート11号棟他長寿命化工事監理委託
- 水戸市双葉台住宅給水方式変更改修実施設計
- 那珂市総合センターらぽーる屋根・排煙設備等改修工事監理
- 日立市北部消防署庁舎整備基本・実施設計
- 日立市高鈴山公衆トイレ改築基本・実施設計
- 日立市日高交流センターエレベーター整備工事監理
- 日立地区産業支援センター太陽光発電設備等整備事業実施設計
- 高萩市総合福祉センター大広間等改修工事監理
- 古河老人福祉センター及び温泉井解体工事実施設計
- かすみがうら市庁舎機能移転に伴う設計
- サンプラザ市原産業創造拠点整備事業及び施設機能保全 実施設計
- 住宅型有料老人ホーム新築工事設計
- 常磐大学高等学校小吹グラウンド屋内練習場新築工事設計監理業務
- ハ峰会グループホーム新築工事監理業務
- 荒川沖薬局工事監理
- M保育園ひびき羽沢横浜国大新装工事積算・監理
- 第3ISSEIビル定期調査報告（令和6年）
- 東北自動車道佐野SA（上り線）商業施設新築工事設計
- 東北自動車道矢巾PA・坂東PA商業施設新築工事設計
- （仮称）流山クリニック新築工事設計業務
- U保育園新築設計
- 南桜井保育室P増築工事設計
- H社3Aテント及び7Bテント工場土間基礎・外構設計、ボンベ置場設計監理、構内道路拡張設計監理

【個別相談受付中】お問い合わせは 株式会社エイプラス・デザインまで



株式会社 エイプラス・デザイン
一級建築士事務所
APLUS DESIGN Inc.

【水戸事務所】〒310-0015 茨城県水戸市宮町1-2-4 マイムビル604
Tel.029-227-3361 Fax.029-302-2793
【東京事務所】〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町5-1 兜町第1平和ビル 1階
Tel.03-4235-2008 Fax.03-4235-2009
<http://www.aplus-design.jp/>



設計事務所からのお知らせです

2024
9
Vol.41

エイプラス・デザイン「事務所通信」Vol.41 ●発行日/2024年9月1日 ●発行/株式会社エイプラス・デザイン 一級建築士事務所



株式会社エイプラス・デザイン 一級建築士事務所

暮らしを豊かにできる 建築サービスを目指して

このたび、株式会社エイプラス・デザインの代表に就任いたしました。30年という歴史を受継ぐことを大変嬉しく思うとともに、責任の重さに身が引き締まる思いです。

エイプラス・デザインのビジョンは、人々の生活を豊かにする建築サービスを提供すること。これは、今までのエイプラス・デザインをガラッと変えたり、否定するのではなく、これまでの歩みをベースにし、これからの成りたい姿を強くイメージできるよう言語化したものです。これを達成するために、社内で4つの価値観を共有しました。

1. お客様を歓喜で満たすこと。
2. お客様と地域の未来を創造していくこと。

3. 自身の設計力を高めること。
4. そして、自らも幸せになること。
これらを胸に秘め、一人一人がやりがいを感じ、さらに力強く邁進していく会社を目指していきたいと思っています。おそらく内容は、当たり前のことだと感じられるのではと思います。ただ、この当たり前のことを高次元で成熟させていきたいという思いがあります。

経営者としては若輩者ですが、新たなエイプラス・デザインとして社員一丸となって活気ある会社に成長させていこうと思いますので何とぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社エイプラス・デザイン
代表取締役 亀田 駿介



※本印刷物の全部または一部を無断で複製・複製転載等を禁じます。



株式会社エイプラス・デザイン
会長 佐藤 昌樹

皆様、エイプラス・デザインは無事30周年を迎えることができました。そして、これを機に代表を後進に譲ることにしました。30年という年月は正直長かったです。色々なことがありました。こうして生き残ってこれたのは、もちろん自分は一生懸命やりましたが、それだけでは到底無理で、多くの人に助けられ支えていただいた結果です。本当にありがとうございました。

さて、せっかくの機会なので、ちょっと当社創業からのあゆみを振り返ってみたいと思います。

1 あるところに間抜け野郎がいましたよ期

創業は東京都文京区小日向のアパートの一室でした。私一人と手伝いのアルバイトの2人で始めました。その後新宿区四谷に移って、正社員も2人くらい雇いましたが、ちょっと大きな仕事が入ったと思ったら、ぱったりと仕事が無くなり、とてもとても不安定で、先の見えない日々でした。



初期の大型案件 協栄会大久保病院

法律や商習慣などもよく分かっておらず、約束手形をもらったけど、どうしてよいかわからなかったり、社保の手続きに翻弄されたり、決算書の意味も分からず、また登記なども全くしていないと、今にして思えば、知らないでは済まない、とても恥ずかしい間抜け野郎でした。



住宅KKH 最初のころは住宅が多かった

2 爆上げでいい気になってんじゃねーよ期



住宅GNH 日事連建築賞、茨城県建築文化賞受賞

東京で7年ほど活動していましたが、だんだん出身地水戸の仕事が増えてきました。要するに、無名の私に仕事を頼む、あるいは紹介してくださるのは、元々私を知っている人に限られ、出身地である水戸が多くなります。それじゃあ、本拠地を水戸に移そうということで、本社移転しました。水戸に来てからは、賞をいただくこともでき、メディアでも取り上げていただいて、なんとなく希望が持てるようになってきました。

そうなるといい気になって、事業拡大しようなどと、大それたことを考え出します。10年で10倍などと、夢みたいなことを言っていたんですが、本当にそうになりました。ただ、好事魔多しの格言通り、構造計算で間違いが見つかりました。再計算で結果オーライだったから良かったようなものの、もしアウトだったら、数億円の損害となるため、もう生きた心地がしませんでした。このころは細かなトラブルも頻発しており、要するに仕事のやり方が乱暴だったのだと思います。調子に乗ってるとしっぺ返し食らうぞという警鐘がなっていたのに、前に進むことばかり考えていて、気が付かなかったのだと思います。

3 安定ってなんて素晴らしいんだ、知らなかったよ期

これだけ痛い目を見ると、流石に鈍感な私でも反省をしました。そこまでは、すごいデザインで有名になってやろうというスケベ心が垣間見えていましたが、それよりも、堅実な設計、奇抜ではない洗練されたデザイン、お客様の満足度を最優先しようという風に方針を転換しました。そうしたところ、着実な経営ができるようになってきました。少し余裕が

出来たので、まちづくり活動とか、シンポジウムや講演などをやり、メディアにもちょくちょく出てブランディングし、結果たくさんの仕事をさせていただけるようになりました。多分、この形が私に合っていたのだと思います。それに気が付くまでに15年以上かかりました。我ながら気の長いことです。



水戸駅前の景観をつくる水戸サウスタワー



まちづくりの一環。映画「桜田門外ノ変」オープンセット

4 安定はいいんだけど、それを打破しないとね期

少し余裕が出来てきたので、色々姑息なことを考えるようになりました。分離発注方式とか、建築紛争コンサルタントとか、建築顧問業務とか、CM（コンストラクションマネジメント）業務とか、海外設計事務所との提携とか、どれもスモールビジネスとしては成立させられましたが、会社全体の動向に影響を与えるほどの事業にはなりません。そして、ふと思いつきました。会社をもっと大きくするには、私だけでは無理だな。別な会社と一緒に、新たなビジネスに

挑戦できないかしら。思い立ったが吉日、さっそくM&A市場に出してみたところ、運よく白水社の山口社長に出会いました。白水社は総合ディスプレイ業を営む会社で、私たち建築設計からすると、お隣さん位の業態です。これがうまく噛み合ったら、きっと面白いことになるに違いないと直感し、即決しました。もっとも、その直感が正しかったと言える位の成果が出るまでに、また7年位かかったのですけどね。



白水社コラボの成果1 佐野サービスエリア下り線リニューアル



白水社コラボの成果2 茨城県庁行政棟11階アトリウム

全部は書ききれないけど、迷走に迷走を重ねていたら、結果的に前に進んでいたという感じがですね。

もうちょっとまっすぐ進めていたら楽だったのにね。次世代はどうなるんでしょう。ちょっと心配でちょっと楽しみ。